様式第２号（第４条関係）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000㎏以上3,000㎏未満のものに限る）

|  |  |
| --- | --- |
| １．保安距離 | ①第1種保安距離(法定16.97m・障壁設置0m)実際距離　　　m 　保安物件の名称②第2種保安距離(法定11.31m・障壁設置0m)実際距離　　　m保安物件の名称 |
| ２．障壁 | ①障壁の構造 材料　　　寸法(高さ)　 　cm(厚さ)　 　cm②扉の構造 材料　　　　　　(厚さ)　　　cm③扉の補強 等辺山形鋼(枠) 　 ㎜× 　㎜(内)　 ㎜×　 ㎜　　　　 間隔(縦)　　　　㎝(横)　　　　　㎝ |
| ３．火気取扱施　設との距離 | ①火気等の種類　　　　　　　火気等との距離　　　　　　m②火気距離が5m未満　障壁(材料)　　　　　　高さ　 　 m |
| ４．滞留防止 | ①貯蔵設備面積　　　　　　㎡　法定換気口面積　　 　㎠②実際の換気口面積　　　　㎠ |
| ５．柵、塀等の設置 | 柵、塀等の種類 |
| ６．警戒標 | ①掲示位置②表示内容 |
| ７．消火設備 | ①粉末消火器 (A-4、B-10以上のもの　貯蔵能力1,000kgにつき1個以上)②その他 |
| ８．軽量な屋根等 | ①屋根の場合　　その材料②遮蔽板の場合　その材料 |
| ９．転倒防止等の措置 |  |
| 10．腐食防止置 |  |

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。